

ベルリン・フィルハーモニー
管弦楽団 来日公演
BERLINER PHILHARMONIKER
CONDUCTED BY SIR SIMON RATTLE
指揮 サイモン・ラトル

14 November 2013 – 20 November 2013

Berliner Philharmoniker
Conducted by Sir Simon Rattle

-報道資料-

2013年3月18日現在

招聘・制作 フジテレビジョン

【本件に関する報道のお問い合わせ】

㈱フューチャーPR&MEDIA 永田全宏

電話：070-6476-9384 FAX:050-3737-7740 Email：nagata@fpm11.net

ベルリン・フィル&サイモン・ラトル
2年ぶり、5度目の来日公演決定!!
全国5都市、6公演を開催!

2011年秋の来日公演から2年。

早くも、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団とサイモン・ラトルのコンビによる来日公演が2013年11月に決定した。このコンビでは、5回目の来日公演となる。また今回は、全国5都市6公演を開催する。回を重ねるごとに日本の聴衆を魅了するベルリン・フィルハーモニー管弦楽団とサイモン・ラトル、5度目の来日公演は、如何に・・・。

首席指揮者サイモン・ラトルは、ベルリン・フィルとは1987年以来、定期的に共演を重ね、2002年からは首席指揮者・芸術監督として、オーケストラに確かな方向性とサプライズとも言える大胆なプランを提唱し続けてきた。首席指揮者・芸術監督として10年以上の年月を経て、更なる充実と深化を増し、今まさに実りの時期を迎えていると言える。

また、2011年の来日公演で初めてコンサートマスターとしての姿を日本のクラシックファンに見せてくれた榎本大進が、今回はソリストとして登場(11/14、15、18、20公演)。各セクションにスタープレイヤーを抱える、言わずと知れた世界最高峰のオーケストラが、早くも待望の来日を果たす。



© Monika Rittershaus

今回のオーケストラコンサートでは、榎本大進をソリストに迎えるプロコフィエフのヴァイオリン協奏曲第1番に、20世紀作品としてラトルの真骨頂を味わうことができるストラヴィンスキーのバレエ音楽「春の祭典」をメインに据えるプログラムと、ベルリン・フィルとラトルの深化が融合するブルックナーの交響曲第7番をメインとしたプログラムで観衆を魅了する。

更なる充実と深化の響きが極まる。

公演実施概要

【公演名】 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 来日公演
指揮：サイモン・ラトル

【演奏】 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団（管弦楽）
サイモン・ラトル（指揮）
榎本大進（ヴァイオリン独奏）＊11月14・15・18・20日公演

【日程】	【会場】	【プログラム】
2013年	11月14日（木） 名古屋／愛知県芸術劇場コンサートホール	①
	11月15日（金） 大阪／フェスティバルホール	①
	11月16日（土） 西宮／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール	②
	11月18日（月） 東京／サントリーホール	①
	11月19日（火） 東京／サントリーホール	②
	11月20日（水） 川崎／ミュゼザ川崎シンフォニーホール	①

【演奏曲目】 **プログラム ①**
シューマン：交響曲 第1番 変ロ長調 作品38 <春>
Schumann : Symphony No.1 in B-flat major Op.38 "Spring"
プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 作品19 ヴァイオリン：榎本大進
Prokofiev : Violin Concerto No.1 in D major Op.19 / Violin: Daishin Kashimoto
ストラヴィンスキー：バレエ音楽「春の祭典」
Stravinsky : The rite of spring

プログラム ②
ブーレーズ：ノタシオン
Boulez : Notations
ブルックナー：交響曲 第7番 ホ長調
Bruckner : Symphony No.7 in E major WAB. 107

【主催】 東京公演： フジテレビジョン
大阪公演： フジテレビジョン
西宮公演： フジテレビジョン、兵庫県、兵庫県立芸術文化センター
名古屋公演： 東海テレビ放送、フジテレビジョン
川崎公演： 川崎市、ミュゼザ川崎シンフォニーホール（川崎市文化財団グループ）

【特別協賛】 TDK 株式会社
【協力】 フェスティバルホール（大阪公演）
【後援】 産経新聞社（東京公演、川崎公演）
【招聘・制作】 フジテレビジョン

【公式ホームページ】 <http://berlin-phil.jp>

【公演に関するお問合せ】

東京公演：	ベルリン・フィル東京公演事務局	TEL：0180-993-789（24時間自動音声対応）
名古屋公演：	東海テレビ放送 事業部	TEL：052-954-1107（平日10:00～18:00）
大阪・西宮公演：	リバティ・コンサーツ	TEL：06-7732-8771（午前10時～午後7時）
川崎公演：	ミュゼザ川崎シンフォニーホール	TEL：044-520-0200（午前10時～午後6時）

※チケット発売日、料金、購入時注意など、各地により異なります。※病気やその他都合により、出演者、曲目、曲順、内容が変更になる場合がございます。その場合、チケットの払い戻しや公演日の変更は承れません。予めご了承下さい。※未就学児童のご同伴やご入場、お子様を膝の上にお乗せになりながらの鑑賞はご遠慮下さい。※開演時間に遅れますと、休憩まで指定された場所にてお待ちになるか、指定された場所でのお立ち見のご案内となります。

【本件に関する報道のお問い合わせ】

㈱フューチャーPR&MEDIA 永田全宏
電話：070-6476-9384 FAX:050-3737-7740 Email：nagata@fpm11.net

【情報解禁日】3月18日

実施概要《東京公演》

【公演名】 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 来日公演
指揮：サイモン・ラトル

【日時・会場】 2013年11月18日(月) 19:00開演 (18:30開場) サントリーホール
2013年11月19日(火) 19:00開演 (18:30開場) サントリーホール

【演奏】 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 (管弦楽)
サイモン・ラトル (指揮)
榎本大進 (ヴァイオリン独奏) *11月18日公演

【演奏曲目】 《11/18(月) サントリーホール》プログラム ①
シューマン：交響曲 第1番 変ロ長調 作品38 <春>
Schumann : Symphony No.1 in B-flat major Op.38 "Spring"
プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 作品19 ヴァイオリン：榎本大進
Prokofiev : Violin Concerto No.1 in D major Op.19 / Violin: Daishin Kashimoto
ストラヴィンスキー：バレエ音楽「春の祭典」
Stravinsky : The rite of spring

《11/19(火) サントリーホール》プログラム ②
ブーレーズ：ノタシオン
Boulez : Notations
ブルックナー：交響曲 第7番 ホ長調 WAB.107
Bruckner : Symphony No.7 in E major WAB.107

【料金】 S席 40,000円 A席 35,000円 B席 31,000円 C席 26,000円
(全席指定・税込) D席 21,000円 E席 16,000円

【チケット一般発売日】 2013年6月8日(土) AM10:00~

【チケット発売窓口】

フジテレビダイレクト <http://fujitvdirect.jp/>
チケットぴあ <発売初日特電>0570-02-9877 (自動音声応答 10:00~23:00)
<http://pia.jp/bpo/> (PC・携帯共通)
<6月9日より>0570-02-9999 (Pコード:195-012) (24時間 火・水2:30-5:30を除く)
ローソンチケット 0570-084-003 (Lコード:36531)
0570-000-407 (オペレーター対応/10:00~20:00)
<http://l-tike.com/> (PC・携帯共通)
イープラス <http://eplus.jp/bpo/>
サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (オペレーター対応/10:00~18:00 休館日は休業)
<http://suntory.jp/HALL/>

【注意事項】

※1回のお申し込みにつき1公演のみ1席種限り2枚までの枚数制限となります。
※6月8日(土)発売初日の店頭販売はございません。
※発売初日にチケット販売予定枚数に達した場合、翌日からの各窓口でのお取扱いはございません。
※0570で始まる電話番号は、一部携帯電話・PHS・CATV電話・IP電話からはご利用になれません。
※病気やその他都合により、出演者、曲目、曲順、内容が変更になる場合がございます。
※公演中止の場合を除き、入場券ご購入お申し込み契約(ご予約)後のお申し込み内容の訂正やご予約の取り消し、また入場券ご購入後の変更や払い戻しは一切できませんので、予めご了承願います。
※開演時間に遅れますと、休憩まで指定された場所にてお待ちになるか、指定された場所でのお立ち見のご案内となります。
※演奏中の入退場、写真撮影、録音等は固くお断り致します。
※ネット・オークション等での転売を目的とするご予約やご購入はご遠慮願います。また、ネット・オークション等、正規販売所以外でご購入になった入場券に関するトラブルについて、主催者は一切責任を負いません。
※未就学児童のご同伴やご入場、お子様を膝の上にお乗せになりながらのご鑑賞はご遠慮ください。
※車イスをご利用のお客様のご予約は、東京公演はベルリン・フィル東京公演インフォメーションデスク (TEL0570-031-330/平日 10:00~18:00)にてお申し受けいたします。

【主催・招聘・制作】 フジテレビジョン
【特別協賛】 TDK株式会社
【後援】 産経新聞社

【公式ホームページ】 <http://berlin-phil.jp>

【お問合せ】 ベルリン・フィル東京公演事務局 TEL:0180-993-789 (24時間自動音声対応)

【情報解禁日】 3月18日

実施概要 《名古屋公演》

- 【公演名】 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 来日公演
指揮：サイモン・ラトル
- 【日時】 2013年11月14日（木）18:45開演（18:15開場）
- 【会場】 愛知県芸術劇場コンサートホール
- 【演奏】 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団（管弦楽）
サイモン・ラトル（指揮）
樫本大進（ヴァイオリン独奏）
- 【演奏曲目】 シューマン：交響曲 第1番 変ロ長調 作品38 <春>
Schumann : Symphony No.1 in B-flat major Op.38 "Spring"
プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 作品19 ヴァイオリン：樫本大進
Prokofiev : Violin Concerto No.1 in D major Op.19 / Violin: Daishin Kashimoto
ストラヴィンスキー：バレエ音楽「春の祭典」
Stravinsky : The rite of spring
- 【料金】 プラチナ席 45,000円 S席 40,000円 A席 35,000円 B席 31,000円
(全席指定・税込) C席 26,000円 D席 21,000円 E席 16,000円
- 【チケット一般発売日】 2013年6月29日（土）AM10:00～
- 【チケット発売窓口】
- | | |
|---------------------------------------|---|
| 東海テレビチケットセンター | <発売初日特電>052-961-6341（10:00～18:00）
<7月1日より>052-951-9104（平日10:00～18:00） |
| クラシック名古屋
東海テレビオンラインチケット
アイ・チケット | 052-678-5310（10:00～18:00）
tokai-tv.com
0570-00-5310
clanago.com/i-ticket |
| チケットぴあ
ローソンチケット | 0570-02-9999（Pコード:194-433）
0570-084-004（Lコード:47572）
0570-000-407（オペレーター対応） |
| 芸文プレイガイド
栄プレチケ92
e+（イープラス） | 052-972-0430
052-953-0777
http://eplus.jp/bpo/（パソコン・携帯） |
- 【注意事項】 ※1回のお申し込みにつき1公演のみ1席種限り4枚までの枚数制限となります。
※発売初日にチケット販売予定枚数に達した場合、翌日からの各窓口でのお取扱いはございません。
※0570で始まる電話番号は、一部携帯電話・PHS・CATV電話・IP電話からはご利用になれません。
※病気やその他都合により、出演者、曲目、曲順、内容が変更になる場合がございます。
※公演中止の場合を除き、入場券ご購入お申し込み契約（ご予約）後のお申し込み内容の訂正やご予約の取り消し、また入場券ご購入後の変更や払い戻しは一切できませんので、予めご了承ください。
※開演時間に遅れますと、休憩まで指定された場所にてお待ちになるか、指定された場所でのお立ち見のご案内となります。
※演奏中の入退場、写真撮影、録音等は固くお断り致します。
※ネット・オークション等での転売を目的とするご予約やご購入はご遠慮願います。また、ネット・オークション等、正規販売所以外でご購入になった入場券に関するトラブルについて、主催者は一切責任を負いません。
※未就学児童のご同伴やご入場、お子様を膝の上にお乗せになりながらのご鑑賞はご遠慮ください。
※車イスをご使用のお客様のご予約は、東海テレビチケットセンター052-951-9104（平日10:00～18:00）、またはクラシック名古屋052-678-5310（10:00～18:00（土曜～17:00）/日祝休み）までお問合せ下さい。
- 【主催】 東海テレビ放送、フジテレビジョン
- 【特別協賛】 TDK 株式会社
- 【招聘・制作】 フジテレビジョン
- 【公式ホームページ】 <http://berlin-phil.jp>
- 【公演のお問合せ】 東海テレビ放送 事業部 052-954-1107（平日10:00～18:00）
- 【チケットに関するお問合せ】
- | | |
|---------------|--|
| 東海テレビチケットセンター | 052-951-9104（平日10:00～18:00） |
| クラシック名古屋 | 052-678-5310（10:00～18:00（土曜～17:00）/日祝休み） |

実施概要《大阪・西宮公演》

- 【公演名】 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 来日公演
指揮：サイモン・ラトル
- 【日時・会場】 2013年11月15日（金）19:00開演（18:00開場） フェスティバルホール
2013年11月16日（土）14:00開演（13:00開場）
兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール
- 【演奏】 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団（管弦楽）
サイモン・ラトル（指揮）
榎本大進（ヴァイオリン独奏）*11月15日公演
- 【演奏曲目】 **《11/15（金）フェスティバルホール》プログラム①**
シューマン：交響曲 第1番 変ロ長調 作品38 <春>
Schumann : Symphony No.1 in B-flat major Op.38 "Spring"
プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 作品19 ヴァイオリン：榎本大進
Prokofiev : Violin Concerto No.1 in D major Op.19 / Violin: Daishin Kashimoto
ストラヴィンスキー：バレエ音楽「春の祭典」
Stravinsky : The rite of spring
《11/16（土）兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール》プログラム②
ブーレーズ：ノタシオン
Boulez : Notations
ブルックナー：交響曲 第7番 ホ長調 WAB. 107
Bruckner : Symphony No.7 in E major WAB. 107
- 【料金】 S席 40,000円 A席 35,000円 B席 31,000円 C席 26,000円
(全席指定・税込) D席 21,000円 E席 16,000円 (11/15大阪公演のみBOX席45,000円、学生席10,000円)
※学生券は演奏会当日、25歳未満で学生証をお持ちの方に限りお求めいただけます。学生券を事前にお求めの上、当日会場にて学生証を提示して、座席券とお引換の上ご入場ください。学生券はチケットぴあでのみ取り扱いいます。
- 【チケット一般発売日】 2013年6月22日（土）AM10:00～ <大阪・西宮共通>
<フェスティバルホール公演> フェスティバルホール・クラブ会員先行、フェスティバルホールオンライン会員先行あり
<兵庫県立芸術文化センター公演> 兵庫県立芸術文化センター会員先行あり
- 【チケット発売窓口】
<大阪のみ> フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221 (10:00～18:00)
<http://www.festivalhall.jp/> (要事前登録)
<西宮のみ> 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00～17:00 月曜日休 祝日の場合は翌日)
<http://www.gcenter-hyogo.jp> (要事前登録)
<大阪・西宮共通>
チケットぴあ <発売初日特電> 0570-02-9500 (10:00～18:00)
<発売初日から> 0570-02-9999 (Pコード:195-008)
<http://pia.jp/bpo/> (PC・携帯共通)
ローソンチケット 0570-08-4005 (Lコード:52043)
0570-00-0407 (オペレーター対応/10:00～20:00)
<http://1-tike.com/> (PC・携帯共通)
イープラス <http://eplus.jp/bpo/>
- 【注意事項】 ※1回のお申し込みにつき1公演のみ1席種限り4枚までお求めいただけます。
※6月22日（土）発売初日の店頭販売はございません。
※発売初日にチケット販売予定枚数に達した場合、翌日からの各窓口でのお取扱いはございません。
※0570で始まる電話番号は、一部携帯電話・PHS・CATV電話・IP電話からはご利用になれません。
※病気やその他都合により、出演者、曲目、曲順、内容が変更になる場合がございます。
※公演中止の場合を除き、入場券ご購入お申し込み契約（ご予約）後のお申し込み内容の訂正やご予約の取り消し、また入場券ご購入後の変更や払い戻しは一切できませんので、予めご了承願います。
※開演時間に遅れますと休憩まで指定された場所にてお待ちになるか、指定された場所での立見のご案内になります。
※演奏中の入退場、写真撮影、録音等は固くお断り致します。
※ネットオークション等での転売を目的とするご予約やご購入はご遠慮ください。また、ネットオークション等、正規販売所以外でご購入になった入場券に関するトラブルについて、主催者は一切責任を負いません。
※未就学児童のご同伴やご入場、お子様を膝の上にお乗せになりながらのご鑑賞はご遠慮ください。
※車イスをご使用のお客様はS席入場券をお求めの上、事前にリパティ・コンサーツまでご連絡願います。
- 【主催】 フジテレビジョン、兵庫県（西宮公演）、兵庫県立芸術文化センター（西宮公演）
【招聘・制作】 フジテレビジョン
【特別協賛】 TDK 株式会社
【協力】 フェスティバルホール（大阪公演）
- 【公式ホームページ】 <http://berlin-phil.jp>
【お問合せ】 リパティ・コンサーツ TEL:06-7732-8771 (午前10時～午後7時)

実施概要 《川崎公演》

- 【公演名】 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 来日公演
指揮：サイモン・ラトル
- 【日時】 2013年11月20日(水) 19:00開演 (開場 18:00)
- 【会場】 ミューザ川崎シンフォニーホール
- 【演奏】 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 (管弦楽)
サイモン・ラトル (指揮)
樫本大進 (ヴァイオリン独奏) *11月20日公演
- 【演奏曲目】 《11/20(水) ミューザ川崎シンフォニーホール》プログラム①
シューマン：交響曲 第1番 変ロ長調 作品38 <春>
Schumann : Symphony No.1 in B-flat major Op.38 "Spring"
プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 作品19 ヴァイオリン：樫本大進
Prokofiev : Violin Concerto No.1 in D major Op.19 / Violin: Daishin Kashimoto
ストラヴィンスキー：バレエ音楽「春の祭典」
Stravinsky : The rite of spring
- 【料金】 S席 40,000円 A席 35,000円 B席 31,000円 C席 26,000円
(全席指定・税込) D席 21,000円 E席 16,000円
- 【チケット一般発売日】 2013年6月8日(土) AM10:00~
※「MUZA 友の会」会員の皆様への割引はございません。
※一般発売に先駆けて、「MUZA 友の会」会員の方への先行販売(4/15締切り)を実施いたします。
詳しくはミューザ川崎シンフォニーホールまでお問合せ下さい。
- 【チケット発売窓口】
- チケットぴあ <発売初日特電>0570-02-8810 (自動音声応答 10:00~23:30)
<発売初日特電>0570-02-9995 (オペレーター対応 10:00~18:00)
<http://pia.jp/bpo/> (PC・携帯共通)
<6月9日より>0570-02-9999 (Pコード:194-941) (24時間 火・水 2:30-5:30を除く)
- ミューザ川崎・イープラス <http://eplus.jp/kawasaki/>
ローソンチケット 0570-084-003 (Lコード:36480)
0570-000-407 (オペレーター対応/10:00~20:00)
<http://l-tike.com/> (PC・携帯共通)
- CN プレイガイド 0570-08-9990 (10:00~18:00)
ミューザ川崎シンフォニーホール 044-520-0200 (10:00~18:00)
チケットカウンター (10:00~19:00)
- ミューザ web チケット <http://muza.pia.jp>
- ※ミューザでの取り扱いは6月9日からとなります。発売初日で販売予定枚数を終了した場合は、お取り扱いはございません。
- 【注意事項】 ※1回のお申し込みにつき1公演のみ1席種限り2枚までの枚数制限となります。
※6月8日(土) 発売初日の店頭販売はございません。
※発売初日にチケット販売予定枚数に達した場合、翌日からの各窓口でのお取扱いはございません。
※0570で始まる電話番号は、一部携帯電話・PHS・CATV電話・IP電話からはご利用になれません。
※病気やその他都合により、出演者、曲目、曲順、内容が変更になる場合がございます。
※公演中止の場合を除き、入場券ご購入お申し込み契約(ご予約)後のお申し込み内容の訂正やご予約の取り消し、また入場券ご購入後の変更や払い戻しは一切できませんので、予めご了承願います。
※開演時間に遅れますと休憩まで指定された場所にてお待ちになるか、指定された場所での立見のご案内になります。
※演奏中の入退場、写真撮影、録音等は固くお断り致します。
※未就学のお子様のご入場はご遠慮ください。川崎公演にはイベント託児所(ママーズ)による託児サービスがあります。
お問い合わせ・お申込みは⇒TEL. 0120-788-222 (月~金 10:00~17:00)
※ネットオークション等での転売を目的とするご予約やご購入はご遠慮ください。また、ネットオークション等、正規販売以外でご購入になった入場券に関するトラブルについて、主催者は一切責任を負いません。
※車イスをご使用のお客様は、川崎公演につきましてはミューザ川崎シンフォニーホールまでお問合せ下さい。
- 【主催】 川崎市、ミューザ川崎シンフォニーホール (川崎市文化財団グループ)
- 【特別協賛】 TDK 株式会社
- 【後援】 産経新聞社
- 【招聘・制作】 フジテレビジョン
- 【公式ホームページ】 <http://berlin-phil.jp>
- 【お問合せ】 ミューザ川崎シンフォニーホール TEL: 044-520-0200 (午前10時~午後6時)

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団（管弦楽）

Berliner Philharmoniker

1882年5月1日、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団〔以下、ベルリン・フィル〕は、ベンヤミン・ピルゼのオーケストラから離れた54名に6人のメンバーが加わって創立。当初は常任指揮者をおかず、演奏活動を続けていたが、1887年にハンス・フォン・ビューローが初代常任指揮者に就任し、たった5年の舵取りでベルリン・フィルの名前と演奏水準を著しく向上させた。



©Sebastian Haenel / Berliner Philharmoniker

1895年からは、アルトゥール・ニキシュの時代となる。1922年に死去するまで、27年にわたりニキシュはライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団〔以下、ゲヴァントハウス管〕の音楽監督も兼任。ブルックナー、マーラー、リヒャルト・シュトラウスだけでなく、ロシア音楽などの多彩なレパートリーの基礎を作り、彼の指揮の下、オーケストラは国際的地位を獲得し、共演を望む大物ソリストたちがこぞってベルリンを訪れた。

第3代常任指揮者となったヴィルヘルム・フルトヴェングラーは当時36歳でありながら、短期間のうちにオーケストラを掌握し精力的な活動を展開。フルトヴェングラーもまた、1928年までゲヴァントハウス管の常任を兼任。1927～30年まではウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者を兼務しながらも、20年間指揮し続けた。そのコンビネーションは、演奏史上でも際立った存在であったが、第2次世界大戦により活動が制約された上、戦後になりフルトヴェングラー自身が演奏を禁止されたことにより、オーケストラは危機的な状況を迎えることとなった。

大戦の復興へと向かったオーケストラは、1955年に初のアメリカ・ツアーを行うこととなる。しかし、この前年にフルトヴェングラーが死去。アメリカ・ツアーは、ヘルベルト・フォン・カラヤンが指揮することになる。後の1956年終身指揮者兼芸術監督に就任。以後33年間にわたって、カラヤン／ベルリン・フィルは数多くのレコーディングを通じて、ブランドとしての名声を確立。音楽産業などに大きな影響を与えると共に、西ベルリンという特殊な都市において「西側」の文化的地位を誇示する象徴的存在となった。

1963年には、本拠地ベルリンに近代的なホール「フィルハーモニー」が完成。1967年からは、ザルツブルク・イースター音楽祭に参加。オペラにも進出し、さらにその活動の幅を広げた。また、若い才能ある器楽奏者に、トップクラスのオーケストラとの実地体験の機会を与えるため、ベルリン・フィル・オーケストラ・アカデミーを創立した。さらに、1987年には室内楽ホールも増築された。

カラヤンは、亡くなる直前の1989年4月に辞任。東西ドイツが統一された1990年からは、クラウディオ・アバドが第5代常任指揮者に就任。メンバー自体の若返りをはかるとともに、柔軟性にも磨きがかかる。

2002年秋より、サイモン・ラトルが首席指揮者・芸術監督に就任し、現在に至る。2004年秋のサイモン・ラトルとの初コンビでの来日公演を果たし、翌2005年、2008年、2011年にも来日、大好評を博した。2011年6月、ベルリン・フィルとサイモン・ラトルはグラスヒュッテ・オリジナル音楽祭にて教育プログラムとその他の文化団体の模範となっていることを高く評価され、賞を授与される。

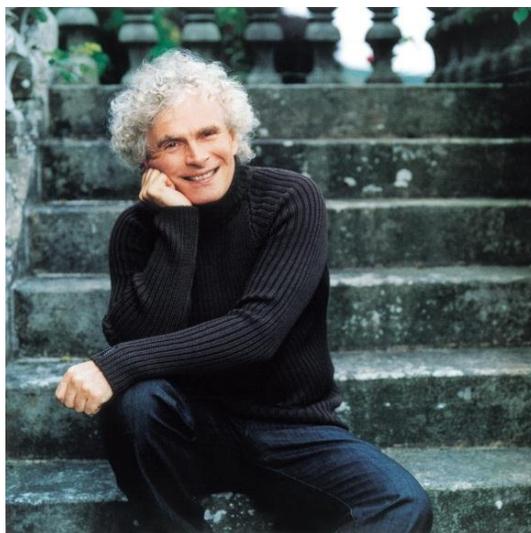
ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団としての来日公演は、今回の2013年公演で通算20回目となる。

サイモン・ラトル (指揮)

Sir Simon Rattle

サイモン・ラトルはリヴァプール生まれ、ロンドンの英国王立音楽院 [ロイヤル・アカデミー・オブ・ミュージック] で学んだ。

1980年から98年まで、ラトルはバーミンガム市交響楽団の首席指揮者兼芸術顧問に就任。次いで音楽監督となり、同楽団と盛んに演奏旅行と録音を行った。更に欧米の主要オーケストラに客演し、ボストン交響楽団とは緊密な関係を築き、最近ではフィラデルフィア管弦楽団とも緊密な関係にある。現在も常に客演指揮者を務めるウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 [以下ウィーン・フィル] とは、ベートーヴェンの全交響曲及びピアノ協奏曲 (ピアノはアルフレッド・ブレンデル) を録音している。またエイジ・オブ・エンライトメント管弦楽団の首席アーティスト、バーミンガム・コンテンポラリー・ミュージック・グループの設立



©Simon Fowler / Berliner Philharmoniker

者でもある。1977年のグラインドボーン・オペラ音楽祭へのデビュー以来、同音楽祭では何作ものオペラを指揮し、ネザーランド・オペラではオペラのシリーズを振っている。その他の主要オペラハウスでは、1985年に英国ナショナル・オペラ、88年にロサンゼルス・オペラ、90年にロイヤル・オペラ、96年にパリのシャトレ座に指揮デビューした。

遡ること15年の共演を経て、2002年の9月にラトルはベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 [以下、ベルリン・フィル] の首席指揮者兼芸術監督に就任した。ベルリンでの忙しい演奏会スケジュールをこなすと同時に、両者は世界各地に公演旅行を行い、その数々の録音と先駆的な教育事業で多くの賞を受賞している。演奏会の演目は広範に及び、バッハやラモーン、ベートーヴェン、ハイドン、モーツァルト、ブラームスから、アデス、ベリオ、ブーレーズ、グリゼイ、グバイドゥリーナ、リンドベルイ、タネジといった現代作曲家に及ぶ。ベルリン・フィルと関係の深いヴェネズエラのシモン・ポリヴァル・ユース・オーケストラでは、ラトルは就任後2つのプロジェクトに着手した。

ザルツブルク・イースター音楽祭では、当時芸術監督としてラトルはベートーヴェンの「フィデリオ」、モーツァルトの「コシ・ファン・トゥッテ」、ブリテンの「ピーター・グライムズ」、ドビュッシーの「ペレアスとメリサンド」のオペラならびに、演奏会形式のモーツァルトの「イドメネオ」を含む多岐に渡る演奏会を、いずれもベルリン・フィルと行っている。また、ワーグナーの「リング・サイクル」(「ニーベルングの指輪」全作上演) をエクス=アン=プロヴァンスとザルツブルク・イースター音楽祭で行った。ベルリン・フィルとのこのサイクルは、2006年エクス=アン=プロヴァンスでの「ラインの黄金」で始まり、2010年ザルツブルク・イースター音楽祭での「神々の黄昏」で終結した。近年のオペラ指揮としては、2007年ロイヤル・オペラとの「ペレアスとメリサンド」、2009年ウィーン国立オペラ座との「トリスタンとイゾルデ」、2010年ベルリン国立歌劇場との「レトワール」のほか、2010年には「ペレアスとメリサンド」でメトロポリタン歌劇場デビューも果たしている。2012年春には、ベルリン・フィルとザルツブルク・イースター音楽祭に最後の出演を果たした。2013年3月にはベルリン・フィルとバーデンバーデン・イースター音楽祭に進出し、毎年4本のオペラと交響曲コンサート、幅広い室内楽のプログラムを演奏。

また、近年はベルリン・フィルとのアジア・ヨーロッパツアーのほか、ウィーン・フィル、ロッテルダム・フィル、エイジ・オブ・エンライトメント管、フィラデルフィア管の各楽団とのプロジェクトをこなしている。2007/08年のシーズンには、ベルリン・フィルの創立125年記念事業、同楽団のカーネギー・ホールでのレジデント公演「ベルリン・イン・ライツ (Berlin in Lights)」と北欧ツアー、BBCプロムスのほか、生まれ故郷のリヴァプールにて

2008年の欧州文化首都としての祝賀行事の一環としてベルリン・フィル及びロイヤル・リヴァプール・フィルとコンサートを行った。

EMIの専属アーティストであるラトルは、レーベルに70作以上の録音があり、国際的に多くの輝かしい賞に与っている。ベルリン・フィルとの近作では、コリン・マシューズの新作「冥王星」に、サーリアホ、ピンチャー、タネジ、ティーンによる世界初演録音の“小惑星たち”を含むホルストの「惑星」、ショスタコーヴィチの交響曲第1番及び14番、リヒャルト・シュトラウスの「英雄の生涯」及び組曲「町人貴族」、ドビュッシーの「海」、ドヴォルザークの「交響詩集」、シューベルトの交響曲第9番、カール・オルフの「カルミナ・ブラーナ」、ブルックナーの交響曲第4番、ニールセンのクラリネット協奏曲及びフルート協奏曲、2007年のグラモフォン賞の最優秀合唱録音を受賞したロシュマンとクヴァストホフを交えてのブラームスの「レクイエム」などがある。最近では、ストラヴィンスキーの「詩篇交響曲」が2009年グラミー賞の「Best Choral Performance賞」を受賞したほか、ベルリオーズの「幻想交響曲」、ラヴェルの歌劇「子供と魔法」、ブラームスの交響曲全集などがある。また、最新盤として2013年3月27日にストラヴィンスキーの「春の祭典」がリリースされる。

サイモン・ラトルは、1994年にイギリス女王よりナイト爵に叙せられるなど、その芸術的功績により多くの名誉に輝いている。2009年のドイツ統一記念日には、芸術活動及び教育プログラム”Zukunft@Bphil”（未来@ベルリン・フィル）を創設した功績に対し功労勲章大功労十字章がドイツ政府より授与された。1996年には、ドビュッシーの「ペレアスとメリサンド」でハンブルクのテプファー財団からシェイクスピア賞を、97年には王立芸術協会〔ロイヤル・ソサエティ・オブ・アーツ〕からアルバート勲章を受けた。2002年9月にベルリン・フィルの芸術監督に就いてからは、オーケストラと共に教育プログラム”Zukunft@Bphil”（未来@ベルリン・フィル）を立ち上げるなど新分野を拓き、その献身的な仕事によって、2004年にはコメニウス賞、2005年5月にはマンハイム市からシラー特別賞、また2007年春にはウラニア賞とゴールデンカメラ賞〔ドイツのメディア賞〕を授与された。また、サイモン・ラトルとベルリン・フィルは芸術団体としては初めてユニセフ親善大使にも任命された。初の公式活動は、2007年11月にニューヨーク・ハーレムのユナイテッド・パレス・シアターにてダンスプロジェクト「春の祭典」に先立ち、カーネギー・ホールの「ベルリン・イン・ライツ（Berlin in Lights）」の一環として行われた。2010年6月には、フランスのレジオン・ドヌール勲章を授与された。

榎本大進（ヴァイオリン）

Daishin Kashimoto

1979年ロンドン生まれ。1990年、第4回バッハ・ジュニア音楽コンクールでの第1位を皮切りに、1996年のフリッツ・クライスラー、ロン＝ティボーの両国際音楽コンクールでの1位ほか、5つの権威ある国際コンクールにて優勝。ドイツを拠点にソリストとして世界の舞台で演奏する傍ら、2010年よりベルリン・フィルの第1コンサートマスターを務める。使用楽器は1674年製アンドレア・グッルネリ。

3歳よりヴァイオリンを恵藤久美子に学ぶ。5歳でNYに転居し、7歳でジュリアード音楽院プレカレッジに入学。田中直子に師事。11歳の時、名教授ザハール・ブロンに招かれリュウベックに留学。20歳よりフライブルク音楽院でライナー・クスマウルに師事し、修士課程をグスタフ・シエック賞を受賞し卒業。

これまで、マゼール、小澤征爾、ヤンソンス、チョン・ミョンフンなどの著名指揮者のもと、国内外のオーケストラと共演を重ねており、チョン・ミョンフン指揮で行われた2006年11月ドレスデン国立歌劇場管とのゼンパーオーバーでの3回の演奏会（ブームス：ヴァイオリン協奏曲）はライブ録音され、ソニークラシカルよりCDが発売されている。



©中島正之

また、室内楽にも意欲的に取り組み、クレーメル、マイルスキー、堤剛、パユ、メイエなどの著名ソリストと共演。チョン・ミョンフンには、室内楽の共演者としても招かれており、チョンのピアノで日本と韓国で演奏会を行っている。

2007年からは、兵庫県赤穂市・姫路市で、自身が音楽監督となり室内楽の国際音楽祭「ル・ポン（Le Pont）」をスタート。「音楽を架け橋に、人と人のきずなを大切に、平和で幸せな世界を創りたい」という榎本の願いを受けて実施されている本音楽祭は、榎本の声かけて世界一流の若手奏者が集い、毎年話題を呼んでいる。

1995年アリオン音楽賞、1997年出光音楽賞、モービル音楽賞、1998年新日鉄音楽賞フレッシュアーチスト賞、平成9年度芸術選奨文部大臣新人賞、2011年兵庫県文化賞、チェンジメーカー2011クリエイター部門、ドイツに於いてはシュタインゲンベルガー賞、ダヴィドフ賞を受賞。NHK-TVでの演奏会やドキュメンタリー番組「炎のレッスン」の放映、大河ドラマ「利家とまつ」紀行テーマの演奏などでも知られる。

2010年、日本人として史上2人目のベルリン・フィル第1コンサートマスターに就任。2012年6月には、ネルソンス指揮のもと、ベルリンのヴァルトビューネ演奏会でソリストを務めた。

また、同2010年よりピアノのコンスタンチン・リフシツとベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタの全曲演奏プロジェクトを開始。2013年1月に最終回を迎える全3回にわたる日本ツアーを行うと同時にCD録音も行っており、EMIクラシックスより2012年10月にリリースされた「ベートーヴェン・ヴァイオリン・ソナタ全集（第1集）」は、レコード芸術特選盤に選ばれている。

（2012年12月現在）